



合同会社 笑光 (にこ)

設立	H30年10月	住所	〒893-0016 鹿屋市白崎町14-13
資本金	180千円	TEL	050-1381-7944
従業員数	4人	FAX	—
代表者	内村 香菜	H P	—
業種	放課後等デイサービス事業		

採択テーマ

柔道を通しての自立を支援する放課後等デイサービスの開業

事業内容 (取扱商品・サービス)

障害を持つ子供達へ柔道を通して自立を支援する放課後等デイサービス事業を提供する。スポーツ体験により、生活習慣の改善並びに運動機能やコミュニケーション力の向上を目的とした支援をし、子どもたちの成功体験を増やし自信を持たせ自分を表現する力を養う。

- ・柔道指導・・・礼儀作法やコミュニケーションを育み、心身の自立を支援する。
- ・音楽指導・・・音楽を楽しみながら体を動かし、リズム感を養う。
- ・夏休・冬休みの指導・・・柔道以外にも野球、サイクリング、バレーボール、ラグビー、サッカー等のスポーツ指導を行うほか、農業体験など様々な経験を得られる機会を与える。

補助内容

- ・店舗等改装 (障害者が利用しやすいトイレへの改修, 壁のクロス張替)
- ・設備購入 (相談業務等が快適にできるようエアコンを設置)

成果

- ・障害児が支障なく使用できるトイレが設置され、利用者の利便性が図られた。
- ・相談室等に使用する部屋のクロス張替及びエアコン設置により、快適な環境で利用者のサポートが行えるようになった。



起業のきっかけ

特別支援学校勤務時代に、引っ込み思案な障害のある児童達に柔道を教えると、相手を抑え込んだら大喜びし、抑え込まれたら涙を流して悔しがる経験をした。障害を持っている子供達に運動と関わる場所を提供し、運動により明るく元気な生活を過ごせるよう、身体面、精神面での自立支援をしたいと思った。

苦労したこと、工夫したこと

- ・視覚的に情報を子供達に伝えるために、絵やホワイトボードを利用している。
- ・子供達のその日の状態・感情によって、プログラムがスムーズに進まないことが多い。

現在の状況・課題

- ・利用登録者は10人で、1日の平均利用は7人程度。依頼を受け講演活動も行っている。
- ・子供達は施設に着き、おやつのと柔道着に着替えて柔道療育に入る。最初は全員で座礼を行うことが難しかったが、訓練により、「整列」の号令で一列に並びしっかりと座礼ができるようになった。

今後の事業展開

- ・子供達が柔道の試合に出場するなど、様々な経験を積み自信をつけることができるような場を増やす必要がある。自信をつけると子供の成長の力は大きいので、出来たという成功体験と達成感を味合わせてあげ、もっと多くの子供達に柔道療育を提供できるような道を探したい。
- ・先々は未就学児への支援も視野に入れ、地域との関わりを深め、事業者と保護者と行政が連携し合って、障害のある子供達が将来力を発揮できる場所を作っていきたい。